

令和6年度における都内私立学校の児童生徒の問題行動・不登校等の実態

1 調査の概要

本調査は、文部科学省が全国の小学校、中学校、高等学校(全日制・定時制・通信制)及び特別支援学校を対象に、令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)における「暴力行為」、「いじめ」、「長期欠席」及び「高等学校における中途退学者等」等の実態把握のため実施したものである。このうち、東京都内の私立学校分を取りまとめたものは、以下のとおりである。

<調査対象>

私立小学校	55校	(児童数 25,669人)	
私立中学校	187校	(生徒数 82,697人)	休校含む。
私立高等学校	241校	(生徒数 183,698人)	休校含む。
私立特別支援学校	4校	(児童生徒数 196人)	

※ 学校数及び児童生徒数は、令和6年度学校基本調査(令和6年5月1日現在)による。

ただし、「5 私立高等学校における中途退学者数等の状況」については、令和6年4月1日現在の高等学校(全日制・定時制・通信制)の生徒(生徒数 183,436人)が対象である。

2 主な調査結果 ※カッコ内は前年度数値

(1) 私立小学校、中学校及び高等学校における暴力行為の状況 【資料の1(3頁)参照】

令和5年度に比べ、暴力行為の発生件数は小学校、中学校及び高等学校において増加している。

暴力行為は、小学校20校で91件(51件)、中学校68校で329件(194件)及び高等学校65校で185件(106件)発生している。

※ 本調査における「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力(目に見える物理的な力)を加える行為」をいい、被暴力行為の対象によって、「対教師暴力」(教師に限らず、用務員等の学校職員も含む。)、「生徒間暴力」(何らかの人間関係がある児童生徒同士に限る。)、「対人暴力」(対教師暴力、生徒間暴力の対象者を除く。)、学校の施設・設備等の「器物損壊」の4形態に分けている。

【問合せ先】

生活文化局私学部私学行政課
電話 03-5388-3194

(2) 私立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校におけるいじめの状況 【資料の2(4、5、6頁)参照】

令和5年度に比べ、いじめの認知件数は小学校、高等学校、特別支援学校において増加し、中学校において減少している。

いじめは、小学校30校で664件(447件)、中学校89校で358件(442件)、高等学校72校で234件(173件)、特別支援学校2校で2件(0件)認知している。

いじめの発見のきっかけとしては、「アンケート調査など学校の取組により発見」が1番多く487件、2番目に「本人からの訴え」340件、3番目に「当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え」222件となっている。

いじめの態様については、「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が793件と最も多く、2番目に「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする」357件、3番目「仲間はずれ、集団による無視をされる」332件、となっている。

※ 本調査において、個々の行為が「いじめ」にあたるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとされている。「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」である(いじめ防止対策推進法)。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

(3) 私立小学校、中学校及び高等学校における長期欠席の状況 【資料の3、4(11、13頁)参照】

令和5年度に比べ、長期欠席者数は小学校、中学校及び高等学校において増加している。

令和6年度の長期欠席者数は、小学校で505人(459人)、中学校で3,311人(3,183人)となっている。高等学校は、3,332人(3,192人)で、全日制3,326人(3,183人)、定時制6人(9人)となっている。

※ 本調査における「長期欠席者数」とは、令和6年度間(令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間)に「病気」、「経済的理由」、「不登校」等により連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒をいう。

(4) 私立高等学校における中途退学者数等の状況 【資料の5(15、16頁)参照】

令和5年度に比べ、退学となった生徒数は定時制及び通信制において増加し、全日制において減少している。

退学者数は2,890人(3,085人)で、全日制は2,549人(2,848人)、定時制は34人(16人)、通信制は307人(221人)である。

(5) 私立小学校、中学校及び高等学校における自殺の状況 【資料の6(16頁)参照】

令和6年度の自殺者数は11人で、小学校は0人、中学校は1人、高等学校は10人である。

1 私立小学校、中学校及び高等学校における暴力行為の状況

(1) 暴力行為の発生状況

項目 校種	学校総数(校) A	発生学校数(校) B	発生率(%) $B/A \times 100$	発生件数(件) C	1校あたりの件数(件) C/A
小学校	55 (55)	20 (21)	36.4% (38.2%)	91 (51)	1.65 (0.93)
中学校	187 (187)	68 (55)	36.4% (29.4%)	329 (194)	1.76 (1.04)
高等学校	241 (241)	65 (52)	27.0% (21.6%)	185 (106)	0.77 (0.44)

※表中の()内は前年度数値

(2) 対教師暴力の状況

項目 校種	学校総数 (校)	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)
小学校	55	8 (14.5%)	22 (0.40)	20 (0.91)
中学校	187	7 (3.7%)	9 (0.05)	8 (0.89)
高等学校	241	6 (2.5%)	8 (0.03)	8 (1.00)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数/発生件数

(3) 生徒間暴力の状況

項目 校種	学校総数 (校)	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)
小学校	55	16 (29.1%)	55 (1.00)	49 (0.89)
中学校	187	59 (31.6%)	270 (1.44)	294 (1.09)
高等学校	241	57 (23.7%)	127 (0.53)	137 (1.08)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数/発生件数

(4) 対人暴力の状況

項目 校種	学校総数 (校)	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)
小学校	55	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)
中学校	187	3 (1.6%)	5 (0.03)	5 (1.00)
高等学校	241	5 (2.1%)	7 (0.03)	6 (0.86)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数/発生件数

(5) 器物損壊の状況

項目 校種	学校総数 (校)	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)
小学校	55	6 (10.9%)	14 (0.25)	11 (0.79)
中学校	187	27 (14.4%)	45 (0.24)	45 (1.00)
高等学校	241	21 (8.7%)	43 (0.18)	54 (1.26)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数/発生件数

(6) 暴力行為の学年別加害児童生徒数

(単位:人)

項目 校種	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
小学校	4 (5.3%)	19 (25.0%)	9 (11.8%)	4 (5.3%)	18 (23.7%)	22 (28.9%)
中学校	187 (53.9%)	108 (31.1%)	52 (15.0%)			
高等学校	97 (47.3%)	80 (39.0%)	28 (13.7%)			

※表中の()は、該当する加害児童生徒数/加害児童生徒校種別総数×100

2 私立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校におけるいじめの状況

(1) 「いじめ」の認知状況等

項目	校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校総数(校) A		55 (55)	187 (187)	262 (262)	4 (4)	508 (508)
認知学校数(校) B		30 (34)	89 (79)	72 (65)	2 (0)	193 (178)
認知件数(件) C		664 (447)	358 (442)	234 (173)	2 (0)	1258 (1062)
警察に相談・通報した件数(件)		3 (2)	11 (4)	8 (5)	0 (0)	22 (11)
認知学校率 B/A×100		54.5% (61.8%)	47.6% (42.2%)	27.5% (24.8%)	50.0% (0.0%)	38.0% (35.0%)
1校当たりの件数(件) C/A		12.1 (8.1)	1.9 (2.4)	0.9 (0.7)	0.5 (0.0)	2.5 (2.1)

※表中の()内は前年度数値

※高等学校においては、全日制校、定時制校、通信制校は1校、全定併置校や通信制併設校等は全日制、定時制、通信制それぞれ1校としている。

(2) いじめの現在の状況

(単位:件)

項目	校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
解消しているもの		247 (37.2%)	276 (77.1%)	197 (84.2%)	2 (100.0%)	722 (57.4%)
解消に向けて取組中	いじめを認知してから3か月以上経過しているもの	30 (4.5%)	52 (14.5%)	19 (8.1%)	0 (0.0%)	101 (8.0%)
	いじめを認知してから3か月経過していないもの	386 (58.1%)	20 (5.6%)	12 (5.1%)	0 (0.0%)	418 (33.2%)
その他(他校への転学、退学等)		1 (0.2%)	10 (2.8%)	6 (2.6%)	0 (0.0%)	17 (1.4%)

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(3) いじめの認知件数の学年別内訳

(単位:人)

学年 \ 校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
計	664 (100.0%)	358 (100.0%)	234 (100.0%)	2 (100.0%)	1258 (100.0%)
1年生	118 (17.8%)	173 (48.3%)	127 (54.3%)	0 (0.0%)	
2年生	120 (18.1%)	117 (32.7%)	70 (29.9%)	0 (0.0%)	
3年生	137 (20.6%)	68 (19.0%)	37 (15.8%)	0 (0.0%)	
4年生	120 (18.1%)		0 (0.0%)	1 (50.0%)	
5年生	81 (12.2%)			0 (0.0%)	
6年生	88 (13.3%)			1 (50.0%)	

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

※高等学校(単位制)については、入学年度を1年次として、1年次、2年次、3年次、4年次以上をそれぞれ1年生、2年生、3年生、4年生としている

(4) いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

校種		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
区分						
学校の教職員等が発見		483 (72.7%)	70 (19.6%)	61 (26.1%)	0 (0.0%)	614 (48.8%)
内 訳	学級担任が発見	38	27	29	0	94
	学級担任以外の教職員が発見 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	3	8	14	0	25
	養護教諭が発見	0	1	1	0	2
	スクールカウンセラー等の相談員が発見	4	1	1	0	6
	アンケート調査など学校の取組により発見	438	33	16	0	487
学校の教職員以外からの情報により発見		181 (27.3%)	288 (80.4%)	173 (73.9%)	2 (100.0%)	644 (51.2%)
内 訳	本人からの訴え	84	138	117	1	340
	当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	77	110	34	1	222
	児童生徒(本人を除く)からの情報	13	30	10	0	53
	保護者(本人の保護者を除く)からの情報	7	8	11	0	26
	地域の住民からの情報	0	0	0	0	0
	学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報	0	2	0	0	2
	その他(匿名による投書など)	0	0	1	0	1
計		664	358	234	2	1258

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(5) いじめられた児童生徒の相談の状況

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任に相談	430 (64.8%)	281 (78.5%)	188 (80.3%)	1 (50.0%)	900 (71.5%)
学級担任以外の教職員に相談 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	37 (5.6%)	47 (13.1%)	59 (25.2%)	0 (0.0%)	143 (11.4%)
養護教諭に相談	24 (3.6%)	11 (3.1%)	21 (9.0%)	0 (0.0%)	56 (4.5%)
スクールカウンセラー等の相談員に相談	55 (8.3%)	58 (16.2%)	33 (14.1%)	1 (50.0%)	147 (11.7%)
学校以外の相談機関に相談(電話相談やメール等も含む)	10 (1.5%)	11 (3.1%)	2 (0.9%)	0 (0.0%)	23 (1.8%)
保護者や家族等に相談	380 (57.2%)	134 (37.4%)	84 (35.9%)	2 (100.0%)	600 (47.7%)
友人に相談	23 (3.5%)	39 (10.9%)	25 (10.7%)	0 (0.0%)	87 (6.9%)
その他の人(地域の人など)に相談	0 (0.0%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)
誰にも相談していない	177 (26.7%)	6 (1.7%)	3 (1.3%)	0 (0.0%)	186 (14.8%)
計	1,136 (171.1%)	588 (164.2%)	415 (177.4%)	4 (200.0%)	2,143 (170.3%)

※回答は複数選択可

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(6) いじめの態様

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	436 (65.7%)	209 (58.4%)	146 (62.4%)	2 (100.0%)	793 (63.0%)
仲間はずれ、集団による無視をされる	221 (33.3%)	73 (20.4%)	38 (16.2%)	0 (0.0%)	332 (26.4%)
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする	295 (44.4%)	43 (12.0%)	19 (8.1%)	0 (0.0%)	357 (28.4%)
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする	84 (12.7%)	26 (7.3%)	21 (9.0%)	0 (0.0%)	131 (10.4%)
金品をたかられる	45 (6.8%)	15 (4.2%)	9 (3.8%)	0 (0.0%)	69 (5.5%)
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	49 (7.4%)	21 (5.9%)	4 (1.7%)	0 (0.0%)	74 (5.9%)
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	84 (12.7%)	32 (8.9%)	14 (6.0%)	0 (0.0%)	130 (10.3%)
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる	31 (4.7%)	83 (23.2%)	59 (25.2%)	0 (0.0%)	173 (13.8%)
その他	50 (7.5%)	19 (5.3%)	12 (5.1%)	0 (0.0%)	81 (6.4%)
計	1,295 (195.0%)	521 (145.5%)	322 (137.6%)	2 (100.0%)	2,140 (170.1%)

※回答は複数選択可

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(7) いじめる児童生徒への特別な対応

(単位:件)

校種		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
区分						
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリング		44 (6.6%)	65 (18.2%)	40 (17.1%)	1 (50.0%)	150 (11.9%)
校長、教頭が指導		59 (8.9%)	77 (21.5%)	68 (29.1%)	2 (100.0%)	206 (16.4%)
別室指導		8 (1.2%)	25 (7.0%)	38 (16.2%)	1 (50.0%)	72 (5.7%)
学級替え		0 (0.0%)	1 (0.3%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)
退学・転学	懲戒処分としての退学	0 (0.0%)	2 (0.6%)	2 (0.9%)	0 (0.0%)	4 (0.3%)
	その他	2 (0.3%)	16 (4.5%)	6 (2.6%)	0 (0.0%)	24 (1.9%)
停学		— —	— —	51 (21.8%)	0 (0.0%)	51 (4.1%)
出席停止		0 (0.0%)	0 (0.0%)	— —	— —	0 (0.0%)
自宅学習・自宅謹慎		— —	— —	35 (15.0%)	0 (0.0%)	35 (2.8%)
訓告		0 (0.0%)	15 (4.2%)	12 (5.1%)	0 (0.0%)	27 (2.1%)
保護者への報告		162 (24.4%)	250 (69.8%)	157 (67.1%)	1 (50.0%)	570 (45.3%)
いじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導		147 (22.1%)	160 (44.7%)	103 (44.0%)	1 (50.0%)	411 (32.7%)
関係機関等との連携	警察等の刑事司法機関等との連携	7 (1.1%)	7 (2.0%)	12 (5.1%)	0 (0.0%)	26 (2.1%)
	児童相談所等の福祉機関等との連携	4 (0.6%)	2 (0.6%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	7 (0.6%)
	首長部局等(児童相談所等の福祉機関等を除く)との連携	0 (0.0%)	3 (0.8%)	4 (1.7%)	0 (0.0%)	7 (0.6%)
	病院等の医療機関等との連携	0 (0.0%)	4 (1.1%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	5 (0.4%)
	その他の専門的な関係機関等との連携	3 (0.5%)	6 (1.7%)	2 (0.9%)	0 (0.0%)	11 (0.9%)
	地域の人材や団体等との連携	0 (0.0%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)
計		436 (65.7%)	634 (177.1%)	532 (227.4%)	7 (350.0%)	1,609 (127.9%)

※回答は複数選択可

(8) いじめられた児童生徒への特別な対応

(単位:件)

校種		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
区分						
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリング		80 (12.0%)	113 (31.6%)	82 (35.0%)	1 (50.0%)	276 (21.9%)
別室の提供や常時教職員が付くなどして、心身の安全を確保		24 (3.6%)	44 (12.3%)	32 (13.7%)	2 (100.0%)	102 (8.1%)
緊急避難として欠席		5 (0.8%)	10 (2.8%)	5 (2.1%)	0 (0.0%)	20 (1.6%)
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施		3 (0.5%)	10 (2.8%)	9 (3.8%)	0 (0.0%)	22 (1.7%)
学級替え		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応		0 (0.0%)	2 (0.6%)	2 (0.9%)	0 (0.0%)	4 (0.3%)
児童相談所等の関係機関と連携して対応(サポートチームなども含む)		1 (0.2%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)
関係機関等との連携	警察等の刑事司法機関等との連携	0 (0.0%)	9 (2.5%)	7 (3.0%)	0 (0.0%)	16 (1.3%)
	首长部局等(児童相談所等の関係機関を除く)との連携	0 (0.0%)	2 (0.6%)	2 (0.9%)	0 (0.0%)	4 (0.3%)
	病院等の医療機関等との連携	0 (0.0%)	7 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (0.6%)
	その他の専門的な関係機関との連携	2 (0.3%)	5 (1.4%)	3 (1.3%)	0 (0.0%)	10 (0.8%)
	地域の人材や団体等との連携	0 (0.0%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)
計		115 (17.3%)	203 (56.7%)	143 (61.1%)	3 (150.0%)	464 (36.9%)

※回答は複数選択可

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(9) 学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

(単位:校)

校種		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
区分						
職員会議等を通じて、いじめの問題について教職員間で共通理解を図った		51 (92.7%)	147 (78.6%)	180 (68.7%)	3 (75.0%)	381 (75.0%)
いじめの問題に関する校内研修会を実施した		34 (61.8%)	80 (42.8%)	95 (36.3%)	0 (0.0%)	209 (41.1%)
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った		49 (89.1%)	141 (75.4%)	137 (52.3%)	2 (50.0%)	329 (64.8%)
児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童・生徒同士の人間関係や仲間作りを促進したりした		31 (56.4%)	90 (48.1%)	94 (35.9%)	0 (0.0%)	215 (42.3%)
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った		50 (90.9%)	152 (81.3%)	197 (75.2%)	2 (50.0%)	401 (78.9%)
教育相談の実施について、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った		19 (34.5%)	69 (36.9%)	87 (33.2%)	1 (25.0%)	176 (34.6%)
学校・警察連絡員の指定を行った		0 (0.0%)	33 (17.6%)	42 (16.0%)	0 (0.0%)	75 (14.8%)
学校いじめ防止基本方針をホームページに公表するなど、保護者や地域住民に周知し、理解を得るよう努めた		19 (34.5%)	70 (37.4%)	84 (32.1%)	0 (0.0%)	173 (34.1%)
保護者やPTAなどとともに、いじめの問題について協議する機会を設けた		7 (12.7%)	15 (8.0%)	23 (8.8%)	1 (25.0%)	46 (9.1%)
地域の人材や団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた		2 (3.6%)	7 (3.7%)	6 (2.3%)	0 (0.0%)	15 (3.0%)
いじめの問題に対し、警察署や児童相談所など地域の関係機関と連携協力した対応を図った		4 (7.3%)	36 (19.3%)	42 (16.0%)	0 (0.0%)	82 (16.1%)
インターネットを通じて行われるいじめの防止及び効果的な対処のための啓発活動を実施した		28 (50.9%)	112 (59.9%)	136 (51.9%)	0 (0.0%)	276 (54.3%)
学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して機能しているか点検し、必要に応じて見直しを行った		34 (61.8%)	98 (52.4%)	120 (45.8%)	0 (0.0%)	252 (49.6%)
いじめ防止対策推進法第22条に基づく、いじめ防止等の対策のための組織を招集した		23 (41.8%)	84 (44.9%)	109 (41.6%)	1 (25.0%)	217 (42.7%)
計		351 (638.2%)	1,134 (606.4%)	1,352 (516.0%)	10 (250.0%)	2,847 (560.4%)

(10) いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った具体的な方法について

(単位:校)

校種			小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
区分			いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校
アンケート調査の実施			27 (49.1%)	16 (29.1%)	80 (42.8%)	63 (33.7%)	57 (21.8%)	111 (42.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	164 (32.3%)	190 (37.4%)
実施 頻度	年1回	4 (7.3%)	4 (7.3%)	19 (10.2%)	21 (11.2%)	17 (6.5%)	38 (14.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	40 (7.9%)	63 (12.4%)	
		18 (32.7%)	12 (21.8%)	54 (28.9%)	40 (21.4%)	37 (14.1%)	69 (26.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	109 (21.5%)	121 (23.8%)	
		5 (9.1%)	0 (0.0%)	7 (3.7%)	2 (1.1%)	3 (1.1%)	4 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (3.0%)	6 (1.2%)	
	調査 方法	記名式	20 (36.4%)	13 (23.6%)	49 (26.2%)	34 (18.2%)	40 (15.3%)	50 (19.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	109 (21.5%)	97 (19.1%)
		無記名式	6 (10.9%)	2 (3.6%)	24 (12.8%)	22 (11.8%)	12 (4.6%)	43 (16.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	42 (8.3%)	67 (13.2%)
		記名・無記名の 選択式	2 (3.6%)	2 (3.6%)	16 (8.6%)	9 (4.8%)	8 (3.1%)	20 (7.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	26 (5.1%)	31 (6.1%)
	回答 方法	学校で記入	25 (45.5%)	15 (27.3%)	61 (32.6%)	46 (24.6%)	40 (15.3%)	72 (27.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	126 (24.8%)	133 (26.2%)
		持ち帰って記入	2 (3.6%)	2 (3.6%)	25 (13.4%)	21 (11.2%)	23 (8.8%)	44 (16.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	50 (9.8%)	67 (13.2%)
個別面談の実施			18 (32.7%)	20 (36.4%)	65 (34.8%)	57 (30.5%)	53 (20.2%)	118 (45.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	138 (27.2%)	196 (38.6%)
「個人ノート」や「生活ノート」といった ような教職員と児童生徒との間で日 常的に行われている日記等			15 (27.3%)	9 (16.4%)	23 (12.3%)	30 (16.0%)	10 (3.8%)	28 (10.7%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	49 (9.6%)	67 (13.2%)
家庭訪問			1 (1.8%)	1 (1.8%)	4 (2.1%)	2 (1.1%)	4 (1.5%)	1 (0.4%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	10 (2.0%)	4 (0.8%)
その他			5 (9.1%)	1 (1.8%)	6 (3.2%)	6 (3.2%)	5 (1.9%)	9 (3.4%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	16 (3.1%)	17 (3.3%)
計			66 (120.0%)	47 (85.5%)	178 (95.2%)	158 (84.5%)	129 (49.2%)	267 (101.9%)	4 (100.0%)	2 (50.0%)	377 (74.2%)	474 (93.3%)

※回答は複数選択可

※表中の()内は、該当する校数/校種別学校総数×100

(11) いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生件数

(単位:人)

区分			小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
法第28条第1項に規定する「重大事態」が発生した学校数(単位:校)			3	26	9	0	38
法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)			5	34	10	0	49
法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		3	19	9	0	31
	重大な被害の態様	生命	0	0	2	0	2
		身体	0	6	0	0	6
		精神	3	12	7	0	22
		金品等	0	1	0	0	1
	調査状況	調査済みの件数	3	19	7	0	29
		うち、調査の結果、いじめが確認されたものの	3	13	6	0	22
			うち、調査の結果、いじめが確認されなかったものの	0	6	1	0
		調査中の件数		0	0	2	0
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		4	16	2	0	22
	調査状況	調査済みの件数	4	12	2	0	18
		うち、調査の結果、いじめが確認されたものの	4	10	2	0	16
			うち、調査の結果、いじめが確認されなかったものの	0	2	0	0
		調査中の件数		0	4	0	0
法第28条第1項に規定する「重大事態」の調査主体	「重大事態」の発生件数のうち、当該学校が調査主体となった件数(単位:件)		5	32	9	0	46
	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		3	19	8	0	30
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		4	14	2	0	20
	「重大事態」の発生件数のうち、当該学校の設置者(当該学校以外)が調査主体となった件数(単位:件)		0	1	1	0	2
	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	0	1	0	1
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	1	0	0	1
	「重大事態」の発生件数のうち、調査主体を検討中の件数(単位:件)		0	1	0	0	1
	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	0	0	0	0
法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	1	0	0	1	
法第28条第1項に規定する「重大事態」のうち、法第30条第2項及び法第31条第2項に規定する調査の結果について調査(再調査)を行った件数	地方公共団体の長等において調査の結果について調査(再調査)を行った件数(単位:件)		0	0	0	0	0
	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	0	0	0	0
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	0	0	0	0

※法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」、同項第2号に規定する「重大事態」は「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。」である。

※「重大な被害の態様」については、最も重大と考えられるものを回答。

※いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号及び同第2号の両方に該当する場合は、それぞれの項目に回答。

3 私立小学校及び中学校における長期欠席の状況

(1) 長期欠席の状況

(単位:人)

項目 \ 校種	小学校	中学校	計
病気	192 (38.0%)	977 (29.5%)	1,169 (30.6%)
経済的理由	0 (0.0%)	4 (0.1%)	4 (0.1%)
不登校	236 (46.7%)	2,187 (66.1%)	2,423 (63.5%)
その他	77 (15.2%)	143 (4.3%)	220 (5.8%)
計	505 (100.0%)	3,311 (100.0%)	3,816 (100.0%)

※表中の()内は、該当する児童生徒数/長期欠席者数×100

(2) 学年別長期欠席理由

(単位:人)

校種	理由 学年	病気	経済的理由	不登校	不登校				その他	合計
					うち50日 以上欠席 している	うち、90日 以上欠席 している	うち、出席 日数が10 日以下	うち、出席 日数が0日		
小学校	1年	8	0	8	4	1	0	0	1	17
	2年	27	0	18	11	3	0	0	6	51
	3年	34	0	24	17	11	4	4	7	65
	4年	26	0	35	26	13	2	0	4	65
	5年	41	0	67	51	33	3	0	8	116
	6年	56	0	84	62	35	3	0	51	191
	計	192	0	236	171	96	12	4	77	505
中学校	1年	243	1	597	447	284	24	0	23	864
	2年	348	1	766	551	387	74	27	34	1,149
	3年	386	2	824	611	432	107	43	86	1,298
	計	977	4	2,187	1,609	1,103	205	70	143	3,311
合計		1,169	4	2,423	1,780	1,199	217	74	220	3,816

(3) 不登校児童生徒について把握した事実

校種	区分	左記に該当なし														
		いじめの被害の情報や相談があつた	いじめ被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談があつた	教職員との関係をめぐる問題の情報や相談があつた	授業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた	学校のきまり等に関する相談があつた	入学、転編入学、進級時の不適応による相談があつた	家庭生活の変化に関する情報や相談があつた	親子の関わり方に関する問題の情報や相談があつた	生活リズムの不調に関する相談があつた	あそび、非行に関する情報や相談があつた	学校生活に対してやる気が出ない等の相談があつた	不安・抑うつの相談があつた	障害(疑い含む)に起因する特別な教育的支援の求めや相談があつた	個別の配慮(障害に起因するものを除く)についての求めや相談があつた	
小学校		9	43	20	27	5	4	23	40	75	0	71	84	11	33	19
中学校		36	263	46	446	32	153	112	251	653	18	486	521	93	54	228
計		45	306	66	473	37	157	135	291	728	18	557	605	104	87	247

※回答は複数選択可

(4) 不登校児童生徒への指導結果状況

(単位:人)

項目	校種		小学校		中学校	
指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	85	(58)	575	(457)		
	(36.0%)	(30.7%)	(26.3%)	(20.8%)		
指導中の児童生徒	151	(131)	1,612	(1,736)		
	(64.0%)	(69.3%)	(73.7%)	(79.2%)		
計	236	(189)	2,187	(2,193)		
	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)		

※表中の右欄(()内)は前年度数値

※表中の()内は、該当する児童生徒数/不登校児童生徒数×100

(5) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分		校種			中学校		
		小学校			中学校		
			*1	*2		*1	*2
学校外	① 教育支援センター(適応指導教室)	18 (7.6%)	15	8	75 (3.4%)	58	50
	② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関 (①を除く)	8 (3.4%)	7	5	11 (0.5%)	9	8
	③ 児童相談所、福祉事務所	6 (2.5%)	6	5	74 (3.4%)	50	38
	④ 保健所、精神保健福祉センター	1 (0.4%)	1	1	12 (0.5%)	10	10
	⑤ 病院、診療所	56 (23.7%)	42	32	582 (26.6%)	446	311
	⑥ 民間団体、民間施設	31 (13.1%)	28	20	81 (3.7%)	65	51
	⑦ 上記以外の機関等	2 (0.8%)	2	2	32 (1.5%)	24	22
	上記①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	138 (58.5%)	90	41	1,401 (64.1%)	1,003	661
学校内	⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	45 (19.1%)	33	21	384 (17.6%)	288	200
	⑨ スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	126 (53.4%)	93	57	958 (43.8%)	754	522
	上記⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数	100 (42.4%)	72	35	1,037 (47.4%)	708	488
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数		60 (25.4%)	43	17	700 (32.0%)	472	322

※回答は複数選択可

※表中の()内は、該当する児童生徒数/不登校児童生徒数×100

※「*1」の欄は、内数として「不登校のうち、50日以上欠席している者」

※「*2」の欄は、内数として「不登校のうち、90日以上欠席している者」

(6) 不登校児童・生徒が欠席期間中に行った学習の成果に係る成績評価について

区分	校種	小学校	中学校
不登校児童生徒の成績評価にあたって、学校教育法施行規則第57条第2項等や関係告示に基づき①～⑤における学習の成果を反映した実人数		71	522
うち、各教科の「観点別学習状況の評価」、「評定」等に反映した人数		65	510
うち、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に反映した人数		56	278
①自宅等		60	510
うち、各教科の「観点別学習状況の評価」、「評定」等に反映した人数		57	503
うち、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に反映した人数		49	271
②教育支援センター		0	8
うち、各教科の「観点別学習状況の評価」、「評定」等に反映した人数		0	5
うち、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に反映した人数		0	7
③教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(②を除く)		2	0
うち、各教科の「観点別学習状況の評価」、「評定」等に反映した人数		1	0
うち、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に反映した人数		2	0
④民間団体、民間施設		12	15
うち、各教科の「観点別学習状況の評価」、「評定」等に反映した人数		9	12
うち、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に反映した人数		8	10
⑤上記以外の機関等		1	1
うち、各教科の「観点別学習状況の評価」、「評定」等に反映した人数		0	1
うち、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に反映した人数		1	1

※①～⑤の区分及び各回答の内数については、複数選択可

4 私立高等学校における長期欠席の状況

(1) 長期欠席の状況

(単位:人)

項目 \ 課程	全日制	定時制	計
病気	1,449 (43.6%)	3 (50.0%)	1,452 (43.6%)
経済的理由	6 (0.2%)	0 (0.0%)	6 (0.2%)
不登校	1,713 (51.5%)	3 (50.0%)	1,716 (51.5%)
その他	158 (4.8%)	0 (0.0%)	158 (4.7%)
計	3,326 (100.0%)	6 (100.0%)	3,332 (100.0%)

※表中の()内は、該当する生徒数/長期欠席者数×100

(2) 学年別長期欠席理由

(単位:人)

課程	理由	病気	経済的 理由	不登校	中退	原級留置	うち、50日 以上欠席 している	うち、90日 以上欠席 している	うち、出席 日数が10 日以下	うち、出席 日数が0日	その他	合計
	学年											
全日制	1年	411	3	676	228	36	322	107	21	7	43	1,133
	2年	577	1	577	146	18	255	64	3	1	43	1,198
	3年	461	2	460	37	7	147	34	0	0	72	995
	単位制	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1,449	6	1,713	411	61	724	205	24	8	158	3,326
定時制	1年	2	0	2	1	0	2	2	0	0	0	4
	2年	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	2
	3年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単位制	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	0	3	1	0	3	3	0	0	0	6
合計		1,452	6	1,716	412	61	727	208	24	8	158	3,332

(3) 不登校生徒について把握した事実

校種 \ 区分	左記に該当なし 個別の配慮(障害に起因するものを除く)についての求めや相談があった 障害(疑い含む)に起因する特別な教育的支援の求めや相談があった 不安・抑うつ等の相談があった 学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった あそび、非行に関する情報や相談があった 生活リズムの不調に関する相談があった 親子の関わり方に関する問題の情報や相談があった 家庭生活の変化に関する情報や相談があった 入学、転編入学、進級時の不適応による相談があった 学校のきまり等に関する相談があった 学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた 教職員との関係をめぐる問題の情報や相談があった いじめ被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談があった いじめの被害の情報や相談があった														
全日制	8	190	20	257	27	203	94	149	461	26	409	365	19	20	229
定時制	0	1	0	1	0	0	0	0	3	0	1	2	0	0	0
計	8	191	20	258	27	203	94	149	464	26	410	367	19	20	229

※回答は複数選択可

(4) 不登校生徒に対する遠隔授業等の実施状況

区分	全日制	定時制
学校教育法施行規則第88条の3に基づき、自宅その他特別な場所で遠隔授業を受けた人数	29	0
そのうち、遠隔授業によって単位を修得した人数	15	0
学校教育法施行規則第88条の4に基づき、授業に代えて通信教育を受けた人数	1	0
そのうち、通信教育によって単位を修得した人数	1	0

(5) 不登校生徒への指導結果状況

(単位:人)

項目 \ 課程	全日制		定時制	
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	844 (49.3%)	(890) (48.3%)	2 (66.7%)	(6) (75.0%)
指導中の生徒	869 (50.7%)	(952) (51.7%)	1 (33.3%)	(2) (25.0%)
計	1,713 (100.0%)	(1,842) (100.0%)	3 (100.0%)	(8) (100.0%)

※表中の右欄(()内)は前年度数値

※表中の()内は、該当する生徒数/不登校生徒数×100

(6) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分 \ 課程		全日制			定時制		
			*1	*2		*1	*2
学校外	① 教育支援センター(適応指導教室)	1 (0.1%)	1	0	0 (0.0%)	0	0
	② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	3 (0.2%)	2	1	0 (0.0%)	0	0
	③ 児童相談所、福祉事務所	33 (1.9%)	19	7	0 (0.0%)	0	0
	④ 保健所、精神保健福祉センター	5 (0.3%)	3	1	0 (0.0%)	0	0
	⑤ 病院、診療所	459 (26.8%)	269	71	0 (0.0%)	0	0
	⑥ 民間団体、民間施設	4 (0.2%)	1	0	0 (0.0%)	0	0
	⑦ 上記以外の機関等	11 (0.6%)	4	3	0 (0.0%)	0	0
	上記①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	907 (52.9%)	314	91	3 (100.0%)	3	3
	不明	297 (17.3%)	119	35	0 (0.0%)	0	0
学校内	⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	381 (22.2%)	181	55	0 (0.0%)	0	0
	⑨ スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	655 (38.2%)	328	102	0 (0.0%)	0	0
	上記⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数	888 (51.8%)	323	79	3 (100.0%)	3	3
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数		531 (31.0%)	152	44	3 (100.0%)	3	3

※回答は複数選択可

※表中の()内は、該当する生徒数/不登校生徒数×100

※「*1」の欄は、内数として「不登校のうち、50日以上欠席している者」

※「*2」の欄は、内数として「不登校のうち、90日以上欠席している者」

5 私立高等学校における中途退学者数等の状況

(1) 退学者数 (単位:人)

学科等 学年		普通科	専門学科	定時制	通信制	合計
1年	生徒数	57,051	1,617	171	951	59,790
	退学者数	1,277	55	4	65	1,401
	退学率	2.2%	3.4%	2.3%	6.8%	2.3%
2年	生徒数	56,117	1,517	177	918	58,729
	退学者数	922	48	1	30	1,001
	退学率	1.6%	3.2%	0.6%	3.3%	1.7%
3年	生徒数	54,538	1,470	165	824	56,997
	退学者数	237	10	0	9	256
	退学率	0.4%	0.7%	0.0%	1.1%	0.4%
単位制	生徒数	—	—	731	7,189	7,920
	退学者数	—	—	29	203	232
	退学率	—	—	4.0%	2.8%	2.9%
計	生徒数	167,706 (166,896)	4,604 (4,684)	1,244 (1,093)	9,882 (9,380)	183,436
	退学者数	2,436 (2,702)	113 (146)	34 (16)	307 (221)	2,890
	退学率	1.5% (1.6%)	2.5% (3.1%)	2.7% (1.5%)	3.1% (2.4%)	1.6%

※生徒数は令和6年4月1日現在
※表中の()内は前年度数値

(2) 退学者の理由別・学年別内訳

【全日制】 (単位:人)

学科等 理由	普通科				専門学科				計			
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
学業不振	78 (6.1%)	60 (6.5%)	15 (6.3%)	153 (6.3%)	5 (9.1%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	6 (5.3%)	83 (6.2%)	61 (6.3%)	15 (6.1%)	159 (6.2%)
学校生活・ 学業不適応	308 (24.1%)	227 (24.6%)	68 (28.7%)	603 (24.8%)	9 (16.4%)	5 (10.4%)	4 (40.0%)	18 (15.9%)	317 (23.8%)	232 (23.9%)	72 (29.1%)	621 (24.4%)
進路変更	754 (59.0%)	527 (57.2%)	130 (54.9%)	1,411 (57.9%)	37 (67.3%)	39 (81.3%)	4 (40.0%)	80 (70.8%)	791 (59.4%)	566 (58.4%)	134 (54.3%)	1,491 (58.5%)
病気・けが・死亡	48 (3.8%)	44 (4.8%)	9 (3.8%)	101 (4.1%)	2 (3.6%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	3 (2.7%)	50 (3.8%)	44 (4.5%)	10 (4.0%)	104 (4.1%)
経済的理由	7 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (0.3%)
家庭の事情	49 (3.8%)	18 (2.0%)	2 (0.8%)	69 (2.8%)	2 (3.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	51 (3.8%)	18 (1.9%)	2 (0.8%)	71 (2.8%)
問題行動等	25 (2.0%)	29 (3.1%)	9 (3.8%)	63 (2.6%)	0 (0.0%)	3 (6.3%)	1 (10.0%)	4 (3.5%)	25 (1.9%)	32 (3.3%)	10 (4.0%)	67 (2.6%)
その他	8 (0.6%)	17 (1.8%)	4 (1.7%)	29 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (0.6%)	17 (1.8%)	4 (1.6%)	29 (1.1%)
計	1,277 (52.4%)	922 (37.8%)	237 (9.7%)	2,436 (100.0%)	55 (48.7%)	48 (42.5%)	10 (8.8%)	113 (100.0%)	1,332 (52.3%)	970 (38.1%)	247 (9.7%)	2,549 (100.0%)
生徒数	57,051	56,117	54,538	167,706	1,617	1,517	1,470	4,604	58,668	57,634	56,008	172,310
退学率	2.2%	1.6%	0.4%	1.5%	3.4%	3.2%	0.7%	2.5%	2.3%	1.7%	0.4%	1.5%

※退学者一人につき主たる理由を一つ選択したもの。
※表中の()内は、該当する生徒数/退学者数×100

(2) 退学者の理由別・学年別内訳（続き）

【定時制/通信制】 (単位:人)

学科等 理由	定時制					通信制					計				
	1 年	2 年	3 年	単位制	計	1 年	2 年	3 年	単位制	計	1 年	2 年	3 年	単位制	計
学業不振	0 (0.0%)	*** ***	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (10.8%)	3 (10.0%)	0 (0.0%)	7 (3.4%)	17 (5.5%)	7 (10.1%)	*** ***	0 (0.0%)	7 (3.0%)	14 (4.1%)
学校生活・ 学業不適応	1 (25.0%)	*** ***	0 (0.0%)	8 (27.6%)	9 (26.5%)	27 (41.5%)	12 (40.0%)	5 (55.6%)	46 (22.7%)	90 (29.3%)	28 (40.6%)	*** ***	5 (55.6%)	54 (23.3%)	87 (25.5%)
進路変更	1 (25.0%)	*** ***	0 (0.0%)	19 (65.5%)	20 (58.8%)	27 (41.5%)	11 (36.7%)	3 (33.3%)	107 (52.7%)	148 (48.2%)	28 (40.6%)	*** ***	3 (33.3%)	126 (54.3%)	157 (46.0%)
病気・けが・死亡	2 (50.0%)	*** ***	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (5.9%)	2 (3.1%)	3 (10.0%)	0 (0.0%)	23 (11.3%)	28 (9.1%)	4 (5.8%)	*** ***	0 (0.0%)	23 (9.9%)	27 (7.9%)
経済的理由	0 (0.0%)	*** ***	0 (0.0%)	2 (6.9%)	2 (5.9%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (2.0%)	5 (1.6%)	1 (1.4%)	*** ***	0 (0.0%)	6 (2.6%)	7 (2.1%)
家庭の事情	0 (0.0%)	*** ***	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	2 (0.7%)	1 (1.4%)	*** ***	0 (0.0%)	1 (0.4%)	2 (0.6%)
問題行動等	0 (0.0%)	*** ***	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (3.4%)	7 (2.3%)	0 (0.0%)	*** ***	0 (0.0%)	7 (3.0%)	7 (2.1%)
その他	0 (0.0%)	*** ***	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.3%)	1 (11.1%)	8 (3.9%)	10 (3.3%)	0 (0.0%)	*** ***	1 (11.1%)	8 (3.4%)	9 (2.6%)
計	4 (11.8%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	29 (85.3%)	34 (100.0%)	65 (21.2%)	30 (9.8%)	9 (2.9%)	203 (66.1%)	307 (100.0%)	69 (20.2%)	31 (9.1%)	9 (2.6%)	232 (68.0%)	341 (100.0%)
生徒数	171	177	165	731	1,244	951	918	824	7,189	9,882	1,122	1,095	989	7,920	11,126
退学率	2.3%	0.6%	0.0%	4.0%	2.7%	6.8%	3.3%	1.1%	2.8%	3.1%	6.1%	2.8%	0.9%	2.9%	3.1%

※退学者一人につき主たる理由を一つ選択したもの。
※表中の()内は、該当する生徒数/退学者数×100
※個々の調査対象に関する事項が特定又は類推され得る部分は、秘匿処理を行っている
※表中の各縦計欄は、秘匿処理を行ったものを除いた合計

(3) 原級留置者の状況

(単位:人)

学科等 学年		普通科	専門学科	定時制	通信制	合計
1 年	生徒数	57,051	1,617	171	951	59,790
	原級留置者数	106	2	0	5	113
	原級留置率	0.2%	0.1%	0.0%	0.5%	0.2%
2 年	生徒数	56,117	1,517	177	918	58,729
	原級留置者数	68	0	0	11	79
	原級留置率	0.1%	0.0%	0.0%	1.2%	0.1%
3 年	生徒数	54,538	1,470	165	824	56,997
	原級留置者数	22	0	0	12	34
	原級留置率	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.1%
単位制	生徒数	—	—	731	7,189	7,920
	原級留置者数	—	—	0	363	363
	原級留置率	—	—	0.0%	5.0%	4.6%
計	生徒数	167,706 (166,896)	4,604 (4,684)	1,244 (1,093)	9,882 (9,380)	183,436
	原級留置者数	196 (194)	2 (5)	0 (0)	391 (314)	589
	原級留置率	0.1% (0.1%)	0.0% (0.1%)	0.0% (0.0%)	4.0% (3.3%)	0.3%

※生徒数は令和6年4月1日現在
※表中の()内は前年度数値

6 私立小学校、中学校及び高等学校における自殺の状況

校種	人数
小学校	0
中学校	1
高等学校	10
計	11